

△**轟原さん限定**

イベント開催のお知らせ



今年一年の感謝を込めてお餅つきを開催します!

つきたてのお餅をみんなで食べて
鏡もちもつくりましょう。
鏡もちはお持ち帰りいただいて
正月飾りにしてくださいね!

△**轟原さん**とは...

駿河屋で住まいづくりのお手伝いをさせていただいたお客様を
“△**轟原さん**”とさせていただきます。今回のイベントは
△**轟原さん**を対象としたイベントとさせていただきます。

日時: 12月28日(金) 12時~15時頃 ※解散自由
場所: 駿河屋 参加費: 無料 ※△**轟原さん**限定
お申込み期限: 12月15日(土) 電話・メールにてお申込みください

駿河屋でお家を建てた人
全員集合~!!



ママパパのオンライン 暖和室

~ LINEで繋がる
新米ママ・パパの為のオンライン相談~

こんにちは! AoI Company代表の奥村葵です。
いよいよ今回が連載最後となりました。3回にわたり、お読みいただきましてありがとうございます!!

ママパパのオンライン暖和室では、11月より、ママと赤ちゃんのなんでも相談室として「ナースの赤ちゃん相談室」、発達や障害に悩んでいるママ向けの相談室として「ナースのニコニコ発達相談室」を開設しております。いずれも国家資格をもつ医療従事者が朝の7時~夜中0時まで、ママの相談にお応えします。今後も困っているママの力になれるよう、スタッフ一同頑張っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
墨田区向島の桜橋通り付近に、「向日葵助産院」をOPENしました!!
産後訪問・ママとベビー専門の出張型です。もちろん助産院にもぜひお越しください



絵: ベっち



産後相談はこちらへ

<アクセス> 墨田区向島2-12-4 ライオンズマンション504号室
徒歩: 押上より13分バス: 向島2丁目バス停より13分
<時間> 訪問: 10時~18時(訪問の予約は10時~16時)
開院: 10時~17時(訪問に出ていることもありますので、電話にて事前にご予約ください)



向日葵助産院



ナースのニコニコ
発達相談室



ナースの
赤ちゃん相談室

~ 家づくりをきっかけに
「体と心がよるこぶ暮らし」を考える ~

自然素材の **注文住宅 リフォーム 不動産** **駿河屋**
創業1657年 株式会社 SINCE 1657

いーにほん おーがにつく

0120-124-029

〒131-0033 東京都墨田区向島1-24-16-1階
https://www.surugaya-life.jp info@surugaya-life.jp



Instagram



facebook



編集後記



駿河屋ニュースに書かせてもらっている職人さんたちとの釣りですが、私も参加させていただきました。記事にはボウズと書いていますが、わたくし、釣れるには釣れたんですよ。しかも鯛! が、5センチの稚魚でした... 釣りも序盤だったのでその時はまだ大きいのが釣れると思い写真も撮らずに逃してしまいました。その後は記事の通りみなボウズ。今回の釣り、一応私が優勝ということになっています。 広報 奥山



駿河屋 SURUGAYA SINCE 1657



空まめの木

2018年12月号



しゅんたろう & すりりん

家づくりをきっかけに『体と心がよるこぶ暮らし』を考える建設・不動産会社です

子育てメッセ2018に出展しました

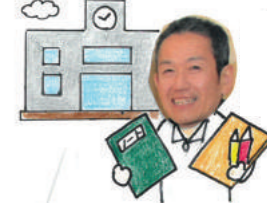
墨田区の子育てに関する応援団が一同に会する大イベント『すみだこそだてメッセ』に出展させていただきました。
我々、駿河屋は「子どもたちに木を好きになっ



てもらおう!」ということでも木の端材や小枝、松ぼっくり、どんぐりなどの自然の素材をつかったのワークショップを開催しました。
使用した木材は家を建てる際の端材なので、新月伐採・天然乾燥の香りや肌触りの良い希少なものなのですが、子どもたちにはあまり関係なく夢中で工作に集中していました...でも、木がいい匂いだったとか、触るとスルスルして気持ちよかったとかそんなことでいいんです。ちょっとでも木を好きになってくれるきっかけになればいいかな~(*^^*)

社長のひとりごと

ミャンマー学校建設プロジェクトで皆さんから御協力頂きました文具120kgを担いで、ミャンマーに行ってきました! 飛行機で7時間半かけてヤンゴンに到着し、翌日の朝7時にバスで出発して、ゴゴゴ道に降りたのが午後1時、その後徒歩で村に向かうと村の音楽隊が迎えてくれました。村の入口では子供たちは花をもって出迎えてくれ、僕たちにお花を手渡してくれました。完成した校舎はレンガ造りで頑丈そう! もう台風や水害で流されず、しっかりとした校舎なので、政府からも先生が派遣されることになりました。一言挨拶をするように言われたので、ミャンマー語を冒険にいくつか交えて笑いを取り、その後日本語で「将来のミャンマーを発展させる立派な大人になってください。そしていつか日本に遊びにきてくださいね」と伝えました。キラキラした子供たちの目や、校長先生や村長さんの真直ぐな眼差しがとても印象的でした。御協力頂いた皆さんありがとうございました!



駿河屋九代目 一樹

現場物語 ～現場で日々起こる、あんな事こんな事～

～壁塗り体験で感じた 一緒におこなう住まいづくり～

僕も住まいづくりに関わらせていただいた現場が先日無事に完工しお引渡しとなりました！そんな完成間近のお宅での一コマ。この日は打ち合わせと工事の進捗の確認の為お施主さまに現場へお越しいただきました。笑顔でお家の中を歩きまわっている姿、仕上がりをとて喜んでくださる姿を見てとても幸せな気持ちになりました。ちょうど左官の作業だったこの日はせっかくなので記念に珪藻土塗りの体験も。打ち合わせやこういった体験をして同じ時間を過ごさせてもらうと「一緒に家を造っている！」という気持ちを改めて思い出させてもらえます。



仕上がりのご確認。塗りが珪藻土が湿っています



左官用のコテを使い珪藻土塗りの体験



手形はこの日の記念に



工事部 今野渉輝

お施主様が一緒に家づくりを楽しんでくれたことがとても印象的でした！

居心地のいい家づくり

～粗大ごみの処分～

1. リサイクル

大きな家具、家電製品を処分するときには、まず、リサイクル出来るかを考えてみましょう。最近だと、金属製品を含むモノは、高く買い取られる場合があります。もう使わない、使えないからとあきらめないで、リサイクルショップなどに一度持ち込んで査定してもらいましょう。思っているよりも高く買い取られる場合もあります。

2. 環境センターに持参する

それでも、買い取りが難しければ、市町村の環境センターなどに持って行って処分しましょう。持ち込む前に、市町村から配られている冊子やインターネットで事前に持ち込み方法、日時などを確認しましょう。また、調べてみると、小さくすれば家庭用ゴミで出せるモノも意外とあるようです。

3. 買う時に考える

大きなモノを買うときには、捨てる時の事も想像してみましょう。ベッド、ピアノ、食器棚など、大きなモノは、最終的に処分するときに自分だけでも搬出出来るのか、また、出来ない場合やどうやって処分するのかをしっかりと計画してから購入しましょう。買い換えの場合は、購入するお店で同等品を処分してくれる場合もあります。今あるモノを処分してから、買替える事を心がけておかないと、まだ壊れていないから、いつか使うからと言って、古いモノを処分しないという、今後大変なことになるかもしれません。



駿和会の職人さんたちと 釣り＆バーベキューを楽しんできました

10月末日、駿河屋の職人さん(駿和会)のみなさんと釣り＆バーベキューをしに遊びに行ってきました。今回は神奈川県の大黒で海釣り and バーベキューです。釣り好きの職人さんと駿河屋のスタッフで普段の仕事道具を釣り竿に持ち替えて頑張ってきました！

駿和会会長の大竹さんも参戦



釣果は聞かないでください。楽しかったからいいんです。でも、近い内にリベンジしますよ！

釣り上げた魚をこのあとのバーベキューで、なんて考えていたのですが、まさかのボウズ。それでも秋の晴天の下、気持ちのいい一日を過ごしてきました。特に秋のバーベキューは最高ですね！また春にやれたらいいなあ。



疲れて動けない...

美味しい食べ物とビールで親睦もバッチリ深めましたよ。



秋山さん！お肉なくなっちゃいますよ～

ワクワク Kid's 子育てを楽しもう



毎日の子育て。気づいてみたら、ついついイライラがつのって怒ってばかり。そんな毎日を過ごしていませんか？小さな事も過ぎてしまえばいい思い出です。楽しんで子育てしましょう。

◆型にはめない

第一子の場合、親も初めての子育てで「まどう事も多いと思います。ちゃんと育てないといけない、という責任や義務感から「この子はこうあるべき」と決めつけて、その型にはまらないとイライラしたり、怒ったり、妥協ができなくなってしまう事が多くあります。でも子供は十人十色。その子その子で性格や行動が違って当たり前です。こうあるべき、という型にはめずに「こうなる事もあるよね」と、おおらかな気持ちになってみましょう。

◆体験は宝物

子供は何でも体験する事によってどんどん成長します。「どうせ覚えていないから」とずっとゲームばかりで育てると協調性のない、思考力の狭い子供になります。キャンプやお芋堀り、キャッチボールやお菓子作りなど、一つずつ体験する事によって、人間関係や社会性が身につきます。少しずつ、「体験」という宝物を積み重ねていきましょう。

◆一緒に楽しもう

「早くしなさい」「ちゃんとしなさい」と上から目線で怒るよりも子供と一緒に楽しんで下さい。「こんな事ができるんだね」「すごいね」「楽しいね」と同じ目線で話をしてみましょう。おかあさんと一緒に作った、一緒に遊んだ体験が、将来、温かい芽となって心に残ります。大人になった時に、ポツと温かい思い出が蘇ってくる、そんなお母さんでいたいですね。